

令和5年6月21日

各報道機関 担当記者 殿

## 文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に 向けたリカレント教育推進事業」に採択

**金沢大学は、文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に申請し、3件のプログラムが採択されました。**

本事業は、デジタル・グリーンなど、成長分野に関する能力を身につけた即戦力人材の育成に向け、産業界や社会のニーズを満たすリカレント教育プログラム開発・実施・横展開に取り組む大学・高等専門学校等に対して、文部科学省が支援するものです。

金沢大学では、「DX分野における、大規模データ取得・管理・活用できる人材」「地域企業内で次世代リーダーシップを担う人材」「加速度的に変化する保健医療に実践の場で対応できる中核的人材」の育成を目的としたプログラムを実施します。

**これらのプログラムにより、産業界が求める人材の育成に寄与し、社会人などのキャリアアップの後押しを実現します。**

なお、各プログラムの概要などは別紙を参照してください。

**【本件に関する照会先】**

研究・社会共創推進部  
地域共創推進課 寺井  
TEL：076-264-5271  
E-mail：chiiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

**【広報担当】**

広報戦略室 川田  
TEL：076-264-5024  
E-mail：koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

# 金沢大学 メニューA 「大規模データ取得・活用を進める技術人材」育成プログラム DX (IoT, データサイエンス, サイバーセキュリティ) × (イノベーション喚起、グリーン、地方創生)

## 特徴

- ・通常の学部・大学院教育のプログラムにない技術面・実践面を重視
- ・大規模データ取得能力、活用能力に特化

## 社会人受講への配慮

- ・8割はオンライン受講可能 (ハイブリッドを含む)。
- ・対面は土曜に実施
- ・リテラシー編 (IT, 計測, 倫理) では事前試験合格者は省略可
- ・各コンテンツで理解度チェック 質保証

受講料：登録料 (1万円程度、北陸ファシリティネットワーク参加機関は無料)

## 目的：大規模データ取得・取扱技術者育成

- ・地域企業・公設試・大学における技術者・研究支援技術者へ
- ・共同利用設備を使える技術者へ

メーカー就業者

研究現場  
リテラシー

出口を見据えた  
動機付け

転職者、新卒者

S評価共用  
研究設備  
実習

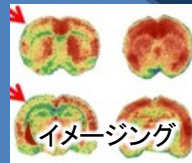
大規模データリテラシー  
データ取得スキル

## 北陸地区の技術人材不足

- ▶ 大規模データ取得・取扱人材供給
- ▶ 企業の生産性向上へ



電子顕微鏡



イメージング



液体クロマトグラフ  
質量分析計



リアルタイムPCR

コアファシリティ  
(構築支援プログラム  
中間評価S評定 2023.1)

## 北陸ファシリティネットワーク

- 金沢大学
- 石川県立大学
- 富山大学
- 富山県立大学
- 福井大学
- 金沢医科大学
- 北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)
- 石川県工業試験場
- 石川県警察科学捜査研究所
- 製品評価技術基盤機構
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋

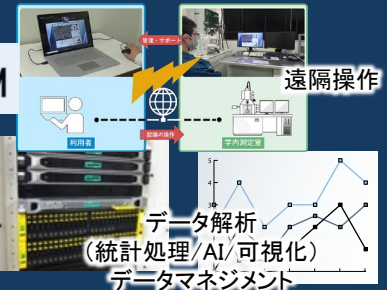
人材難の  
地域製造業  
地域産業

北陸経済連合会  
北陸未来共創フォーラム

GakuNin RDM

コンテンツ提供  
技術者就労情報

ニーズ把握・分析  
受講生募集支援  
事業実施委員会



フル参加定員 30名  
部分受講 (オンラインのみ) 無制限

数値目標： 就職・在職率 80%以上  
受講者、連携企業からの肯定的評価 いずれも80%以上

# 金沢大学 (Ⅲ)リスキルコース メニューB「地域企業変革リーダー人材DXリスティングプログラム」(DX×地方創生)

## プログラムの目的等

◆企業経営の中核としてリーダーシップをとれる「次世代リーダー」人材は高いニーズがあるにもかかわらず絶対的に不足。

<理由は?>

- 人材育成・スキルアップのノウハウやシステムを持つ企業が少ない。
- DX実現のために求められる「デジタルとビジネスを組み合わせる力」、その必要性そのものが理解されていない。

プログラムの目的

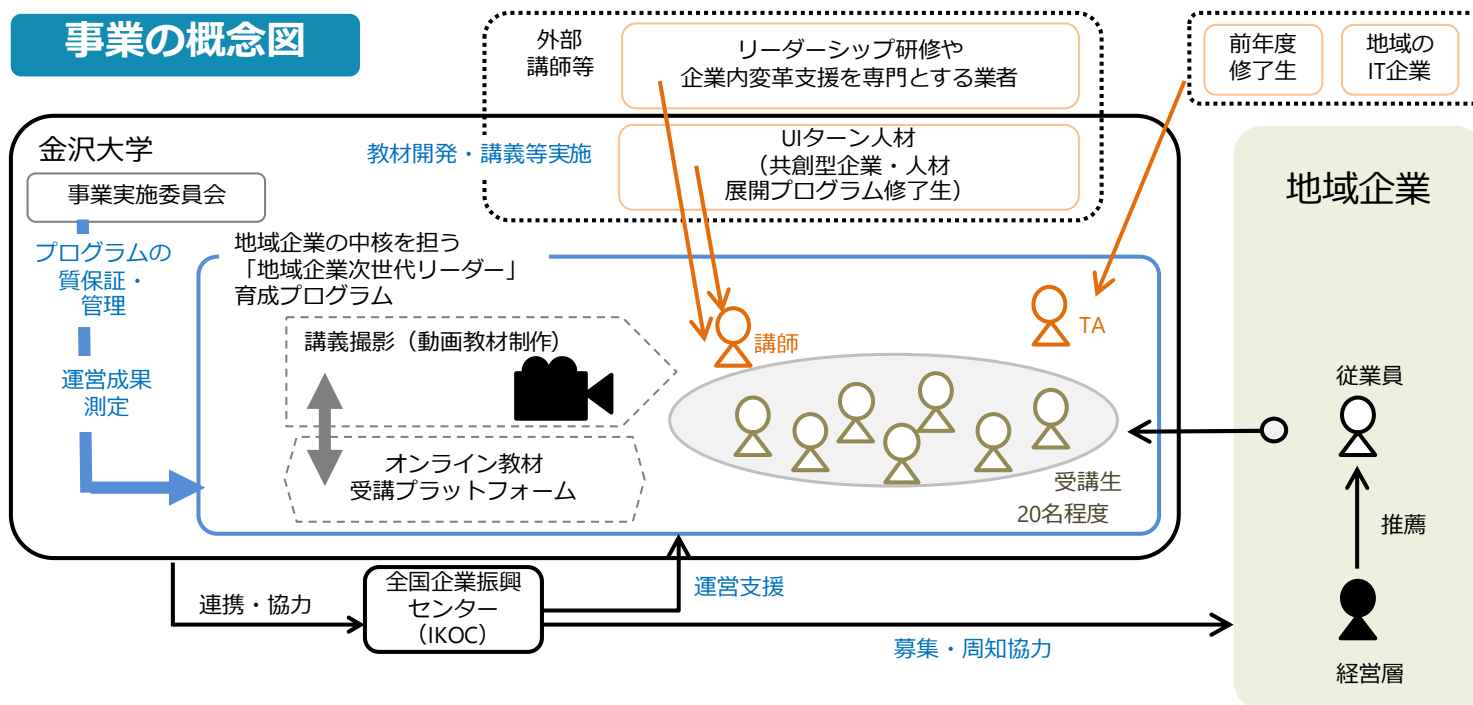
### 受講者（「次世代リーダー」候補人材）

- 互いをロールモデルとし、リーダーシップの涵養、基本的経営理論やマネージング手法を修得
- トップ経営者と現場を繋ぐ「全社最適」を意識したベンダーコントロール（非IT企業従業員）、顧客理解のうえで顧客のDXを促す構想力（IT企業従業員）を持ち、企業の生産性や業績の向上・就業環境の改善に貢献できる人材の育成

### 企業等

- ガバナンス向上や組織マインドの変革、生産性の向上、地域経済全体の底上げ、DXの考え方の定着

## 事業の概念図



## 目標数値等

受講者数	20名
部分受講者（定員の10倍程度）	200名
総授業時数（実時間数）	65時間
プログラム期間	6カ月
受講者からの肯定的な評価	80%以上
企業等からの肯定的評価	80%以上

▼横展開として、他大学との連携によるプログラム展開や、IKOC、自治体・公的機関等（石川県、石川県産業創出支援 機構（ISICO）、金沢市、金沢商工会議所、等）と連携した部分プログラムの企画・展開などを検討。

# 金沢大学 メニューC「北陸の中心で多職種から学ぶ～メディカルスタッフのための未来キャリア創造プログラム」 (分野) 保健医療 × DX (AI、IoT、データサイエンス)

## 目的

メディカルスタッフの「キャリア自律を支援するプログラム」並びに「協働による相互扶助を支援するプログラム」の開発・実施により、加速度的に変化する保健医療に実践の場で対応できる、「中核的人材 (=ハイレベルなメディカルスタッフ)」を育成

## 特徴

▶未来に働くメディカルスタッフの拠り所となる「**個の成長**」と「**支え合い**」の学び直しを支援

個の成長は重要。だが、保健医療はチームが機能してこそ最良の結果を生む

### キャリア自律支援

- 求められる技術の高度化に応える
- AI・DX等の普及による保健医療の変革に対応する
- 論理的思考に基づいた実践力・課題解決力



### 協働による相互扶助

- コロナ禍を経て重要性が高まり続けている、メディカルスタッフのメンタルヘルスリテラシー
- 実践経験を積んだからこそ深い学びとなる多職種連携

## 北陸の中心で多職種から学ぶ～メディカルスタッフのための未来キャリア創造プログラム

医療系多職種の大学院教員の高度な専門性と魅力的な教育手法

6つのプログラムから自由に選んで受講可能

プログラム① サブスペシャリティ認定資格のその先へ

プログラム③ AI・IoTを学ぶ

プログラム⑤ メンタルヘルスリテラシー

プログラム② 実践につなげる研究力

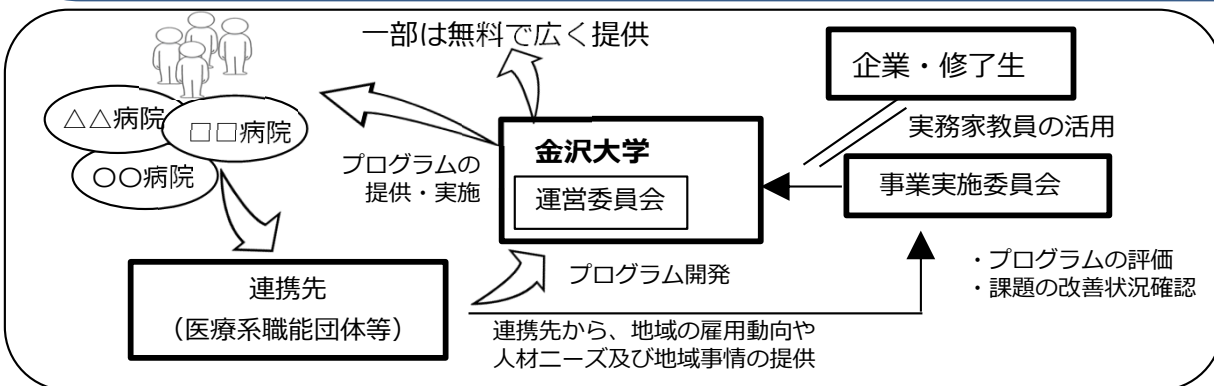
プログラム④ DX・VRでリハビリテーション

プログラム⑥ 多職種で実践する地域包括ケア

「中核的人材 (=ハイレベルなメディカルスタッフ)」を育成

- ・細胞検査士として細胞診検査業務に従事する人材
- ・現場のニーズに即した、新たなVR技術開発のシーズを発掘できる高度人材
- ・研究的視点を持って看護ケアを探究する人材
- ・メンタルヘルスケアのエキスパート
- ・保健医療の現場でAI・IoTを活用し、新たな技術の開発に協力できる人材
- ・他職種の専門性や考え方を理解し、協働して地域包括ケアを実践できる人材

受講期間：半年程度 定員：10～60人程度 受講料：～50,000円程度 ※ 受講期間・定員・受講料はプログラムにより異なる



### 数値目標

- ・ 定員を満たす受講者数
- ・ 細胞検査士資格取得者 10名
- ・ プログラム実施後の肯定的評価8割以上

北陸の中心で  
他職種とともに  
多職種から学ぶ  
プログラム

**金沢大学**  
KANAZAWA UNIVERSITY